



# 留萌建設管理部

事業一覧および事業箇所図は留萌建設管理部の社会資本整備に関する  
アカウントビリティのページにて公表します。（6月公表予定）

<https://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/rkk/kahatupage/accountability/>



## 留萌建設管理部の概要



その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

### 《概要》

留萌建設管理部管内は、1市6町1村全てが日本海に面し、南北約130km、東西約60kmの南北に細長い形状であり、主要部は天塩山地の西斜面、南部は増毛山地の北麓、北部には天塩平野が位置し、海岸近くまで丘陵が迫り、河川沿いに平坦地が多く分布する地形となっており、市街地も河川沿いに形成されています。

また、夕日の美しい海岸線は「日本海オロロンライン」として親しまれているほか、「暑寒別天売焼尻国立公園」や北海道遺産に選定されている「留萌のニシン街道」、「増毛の歴史的建造物群」など豊かな自然や多くの観光資源に恵まれています。

留萌建設管理部では、こうした地域の特性を踏まえ、地域の安全・安心を守る防災・減災対策により、留萌地域の強靱化の取組を進めるとともに、社会経済活動の維持と活性化を支える各種社会資本の整備を行っています。

治水関係事業では、河川の氾濫や山地からの土石流等により、度々大きな災害が発生していることや、近年の気候変動による自然災害の激甚化・頻発化を鑑み、古丹別川における治水安全度の向上を目的とした河川改修や暑寒別川における流出土砂を抑制する砂防設備、がけ崩れを防止する急傾斜地崩壊対策施設などの整備を実施します。

道路関係事業では、地域の基幹産業である農業・水産業の発展や多くの資源を活かした観光の振興を支えるため、名寄遠別線における不通区間の解消を目的とした道路の新設、浜中元川線（都市計画道路名：見晴通）における道路拡幅と不通区間の道路の新設により道路ネットワークの形成を図るほか、落石や地すべりを防止する施設などの整備を実施します。

また、これまで整備してきた多くの橋梁や河川管理施設などの公共施設についても、長寿命化計画に基づき、施設の点検や補修・更新を行っているところであり、今後も着実に老朽化対策を推進します。